

---

国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター研究講演会  
第1回電池技術研究部門フォーラム  
—社会とくらしを支える電池・燃料電池技術—

---

電池技術研究部門は、平成27年4月の産業技術総合研究所第4期の出発にあたり、これまでのユビキタスエネルギー研究部門から蓄電池（二次電池）技術および燃料電池発電技術の研究開発を引き継いで産業技術総合研究所関西センターを拠点に発足いたしました。

コンパクトにエネルギーを貯蔵する蓄電池は、スマートフォン等ポータブル情報機器の実現を支え、電気自動車の普及や再生可能エネルギー貯蔵などの実用化に欠くことのできないものです。また、化学エネルギー（燃料）を高効率に電気に変換する燃料電池は、エネファーム（家庭用燃料電池）が累計出荷12万台を超え、昨年度末には燃料電池自動車MIRAIが発売されて、より身近なものとなりつつあります。これらの技術がさらに普及・発展して私共の生活の可能性を広げ、代表的な日本の環境・エネルギー技術として発展するには、革新的な次世代材料の開発が必要です。そのため、電池技術研究部門では、蓄電池技術と燃料電池発電技術を支える次世代材料とその実用化技術、それらの基本となるナノレベルからの材料の理解への取り組みを産業界・アカデミアと連携して進めております。

新生電池技術研究部門の最新研究をご紹介しますとともに、私共が蓄電池技術および燃料電池発電技術の進歩と実用化にいかに関与するかについて示唆をいただく場として、本フォーラムを下記の通り開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

記

日時 平成28年1月19日（火） 13:30～16:50（終了後、交流会）  
場所 梅田スカイビル タワーウエスト スペース36L  
（大阪市北区大淀中1丁目1-88 <http://www.skybldg.co.jp/skybldg/>）  
主催 国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター  
後援 近畿経済産業局（予定）、大阪商工会議所（予定）、  
（一財）大阪科学技術センター（予定）  
協賛 電気化学会関西支部（予定）  
定員 150名  
参加費 無料（交流会は別途参加費3000円）

参加申込 以下の項目を [riecen2015-ml@aist.go.jp](mailto:riecen2015-ml@aist.go.jp) まで電子メールでお送り下さい。

<〆切 平成28年1月12日（火）>

件名：第1回電池技術研究部門フォーラム参加申込

1) 機関名、2) 所属、3) 氏名、4) 交流会参加有無、5) 連絡先（E-Mail等）

問合せ先 産総研関西センター 第1回電池技術研究部門フォーラム事務局

（産業技術総合研究所関西センター 産学官連携推進室内）

TEL:072-751-9606 [riecen2015-ml@aist.go.jp](mailto:riecen2015-ml@aist.go.jp)

最新情報は右記にてご確認ください。 <http://unit.aist.go.jp/kansai/>

---

国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター研究講演会  
第1回電池技術研究部門フォーラム  
—社会と暮らしを支える電池・燃料電池技術—

日時 平成28年1月19日(火) 13:30~16:50  
場所 梅田スカイビル タワーウエスト スペース36L

プログラム

- 13:30~13:35 開会挨拶  
関西センター 所長 長谷川 裕夫
- 13:35~13:40 来賓祝辞  
経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部長 吉野 潤 様
- 13:40~13:55 電池技術研究部門紹介  
電池技術研究部門 研究部門長 谷本 一美
- 13:55~14:45 基調講演 「電池技術研究の共通基盤構築への期待」  
トヨタ自動車株式会社 電池研究部 部長 射場 英紀 様
- 14:45~14:55 休憩
- 14:55~15:40 研究紹介—蓄電池技術 「高性能次世代電池実用化への取り組み」  
電池技術研究部門 総括研究主幹 小林 弘典
- 15:40~16:10 研究紹介—燃料電池技術 「低コスト・高耐久化を目指した電極材料開発」  
電池技術研究部門 次世代燃料電池グループ長 五百蔵 勉
- 16:10~16:40 研究紹介—高度解析技術 「電池・燃料電池開発のためのナノ材料科学」  
電池技術研究部門 ナノ材料科学研究グループ長 秋田 知樹
- 16:40~16:50 閉会挨拶  
電池技術研究部門 研究部門長 谷本 一美
- 17:00~18:30 交流会(会費制、会場:梅田スカイビル スペース36R)

参加費 無料(交流会は別途参加費3000円)

---